

一般社団法人島根県臨床工学技士会

平成30年度第4回理事会議事録

- 開催日時：平成30年9月1日（土） 午後3時00分
- 開催場所：松江赤十字病院 4F MEセンター
松江市母衣町200
- 理事・監事の数および出席理事・監事の数並びにその出席方法
 - (1) 理事の数 12名、監事の数 2名
 - (2) 出席理事の数 9名、出席監事の数 0名
- 出席理事の氏名 福田 勇司、錦織 伸司、安井 宏治、藤松 祐輔、上岡 栄司
明穂 一広、加藤 智久、福島 成文、宇津井利奈
- 議長の氏名 福田 勇司

(議案)

1. 第9回中四国臨床工学会についての件

議長は、本件について藤松理事に説明させた。

詳細については別紙参照。託児所については第8回大会の様子を見て設置するか検討する。趣意書についてはほぼ完成しており今後発送準備にかかる。ホームページも URL があるが、第8回大会が終了したら正式にアップする予定。島根県と松江市から補助金があり、島根県から20万円、松江市から12万円の予定。大会スタッフは鳥取県から1日目7名、2日目10名の捻出をお願いしている。

予算については、事前参加登録者を4000円、ハンズオンセミナーを追加として、7,825,000円の収支を考えている。

2. 教育担当報告の件

議長は、本件について明穂理事に説明させた。

7月22日に行われた臨床工学技士体験イベントについて、総参加者数は304名であった。来年は内視鏡など違う装置も検討。また場所についてもイオンモール等の商業施設も検討する。サポート技士については、少し若すぎたため、できれば30才代を中心にサポート技士を選出していきたい。

次に、鳥取県との合同の山陰臨床工学セミナーについて、開催日は12月2日（日）、場所は松江テルサに決定している。内容は以前説明したように循環・呼吸・代謝部門でそれぞれメーカーによるプレゼンを行ってもらう。

9月1日は松江CEミーティング、9月2日は臨床工学ステップアップセミナーで35名の参加申し込みがあった。

来年度の島臨工学会大会について、今年の実績点を踏まえて午前中に特別講演、午後の最後に一般演題の発表を行う。また会場も大会会場と機器展示を分ける。詳細は別紙参照。

3. 広報担当の報告の件

議長は、本件について安井理事に説明させた。

会誌発行にむけて準備を行っている。発送は来年度総会の議案書・学会大会抄録集と一緒にやりたい。

4. 会計報告の件

議長は、本件について福島理事に説明させた。

会費の自動引き落としの未手続きはあと26名である。賛助会費は26社から振り込みがあった。

5. Yボードからの報告の件

議長は、本件について福島理事に説明させた。

9月9日にくにびきメッセにおいてKidsフェスに出展することとなった。参加予定数は約1000人。展示体験するものはAED、透析コンソール、模擬血管への穿刺体験、輸液・シリンジポンプの分解体験などを考えている。サポートスタッフも約10名集まった。

9月15日にキララコテージにおいてBBQおよびセミナーを開催する。参加予定者数はセミナー28名、BBQ36名、宿泊10名である。

6. 事務局報告の件

議長は、本件について錦織事務局長に説明させた。

賛助会員数9月1日現在で31社である。

7. その他

議長は、本件について秋國理事に説明させた。

災害ネットワーク訓練の参加率は島根県53%と中国地区で一番低かった。対して岡山県は97%の参加率であった。この原因として施設代表メールの案内を送っても、透析部門に伝わっていない可能性が考えられる。後日メールでアンケートを行いたい。参加したかどうか、参加しなかった理由を中心に。

最後に福田会長より、専門学校の評価委員会、教育課程編成委員会に参加してきたと報告があった。議事録については後日回覧する予定。

8. 次回理事会

次回理事会は10月6日を予定。

議長は、以上をもって本日の議案審議を終了した旨を述べ、午後4時25分閉会した。
以上の決議を明確にするため、この議事録をつくり、出席理事及び監事がこれに記名押印する。

平成30年9月1日

一般社団法人島根県臨床工学技士会 平成30年度第4回理事会

議長理事 福田 勇 司

理 事 明 穂 一 広

理 事 加 藤 智 久

理 事 錦 織 伸 司

理 事 安 井 宏 治

理 事 藤 松 祐 輔

理 事 上 岡 栄 司

理 事 福 島 成 文

理 事 宇津井 利 奈